

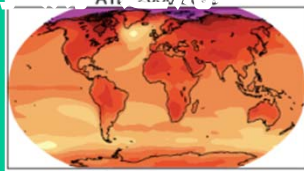
次期海洋基本計画策定に向けた検討(中間まとめ) ～海洋の持続的利用に向けた海洋フロンティア開拓戦略～

- 海洋開発分科会では、次期海洋基本計画(25～29年度の5年計画、閣議決定予定)策定を見据え、本年3月より、科学技術から貢献すべき事項について検討。5つの課題と重点事項をとりまとめ。
- 今後、重点事項の研究計画について、ロードマップを作成予定。

5つの課題

課題における重点事項

① 地球温暖化と 気候変動予測・適応



- 温暖化推定に資する不確実性の定量化
- 海洋・宇宙連携による気候変動予測精度の向上
- 温暖化の影響評価実施、予測検証のための観測・調査研究の充実
- 北極域や黒潮流域等の観測・調査研究強化

② 海洋エネルギー・ 鉱物資源の開発



- 海洋エネルギー・鉱物資源開発計画の着実な推進
- 広域調査による我が国EEZ等の資源ポテンシャルの解明
- 効果的・効率的な鉱物資源探査システムの確立、技術移転促進
- 海洋資源調査を広域に実施するためのプラットフォームの強化(船舶の建造等)

③ 海洋生態系の保全・ 生物資源の持続的利用



- 海洋生態系の構造・機能・変動データの充実、モデルによる変動予測の推進
- 海洋生物資源評価や資源管理技術の開発の推進
- 海洋生態系の保全や持続的利用への観測・調査情報の反映
- 増養殖関連技術や海洋生物のバイオ燃料化等の研究開発の推進
- 放射性物質の海中拡散に関する調査の長期的・持続的実施

5つの課題

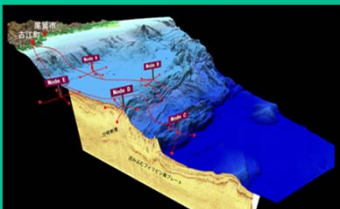
課題における重点事項

④海洋再生可能エネルギーの開発



- 海洋再生可能エネルギーの経済性を高める要素技術確立
- 実海域における技術課題の抽出、経済性・環境影響評価等の推進
- 海洋再生可能エネルギーシステム技術の確立

⑤自然災害対応



- 津波・波浪の監視を行うシステムの構築
- 津波・高潮等の予測モデル高度化による防災・減災の推進
- 過去の海溝型地震の規模・発生履歴の解明
- プレート境界面より採取した地質試料の分析による地震発生予測精度の向上

各課題への取組を支え、発展させる共通重要事項

基盤的技術の開発、長期的な観測の実施、プラットフォームの整備

- 船舶の計画的整備、研究機関間の共同利用推進
- 小型で安価な無人探査機等調査効率化のための技術開発 等

研究開発成果の産業化

- 成長が見込める分野は、関係各省が一体的に工程表策定、環境整備や研究開発を実施 等

人材育成と理解増進

- 教材・モデル事例の活用による海洋教育の充実
- 人材育成のための教育プログラムの充実
- アウトリーチ活動、施設公開などによる海洋にふれる機会の増加促進 等

海洋資源調査研究ロードマップ ～海洋資源調査研究の戦略的推進～

